

資料2

西東京市公民館運営審議会
令和6年度第8回定例会

令和6年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和7年1月22日

実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1 芝久保	子育て中の人ための講座（保育付き） みんなイキイキ自分らしく輝こう ～主体性を育む子育てのヒント～	5月24日から 10月4日 金曜日 10時から12時 全13回	延べ92人	男性の育児参加が促進される中、女性も男性も子ども楽しく自然体にお互いの立場や見方の違いを把握して、子育て・家事・仕事を継続して行っていくためのヒントを様々なワークやグループワークを通して学んだ。	松岡 年（NPO法人ウィメンズ・サポート・オフィス連理事） 浅野由子（日本女子大学家政学部児童学科准教授） 甲斐聖子（日本女子大学家政学部児童学科助教） 嶋津直之（運営パパ育コミュ代表） 細野礼貴（運営パパ育コミュ副代表）
2 芝久保	第41回芝久保公民館まつり	10月26日 土曜日 9時20分から16時 10月27日 日曜日 9時20分から15時	延べ来場者 926人	実行委員会での話し合いを積み重ね「みて あそんで 笑顔で!」というキャッチフレーズのもと、それぞれの団体が日頃の活動を活かして、子どもも大人も楽しめる体験会やイベントを開催した。芝久保公民館を中心に活動するサークルの活動成果を発表、地域住民と公民館利用者の交流の場となった。	
3 芝久保	多世代交流講座 掘って描いてさつまいも ～みんなで収穫&五感でアート～	11月4日 月曜日・祝日 11月24日 日曜日 10時から12時 全2回	延べ25人	直接、野菜生産者から栽培方法を聞き、自分が収穫したさつまいもを五感で感じながら描くアートを同じ地域に暮らす多世代で体験した。	安田弘貴（やすだ農園） 大野恭裕（臨床美術士）
4 谷戸	谷戸公民館開館40周年記念事業	11月4日 月曜日・振休 10時から16時	延べ210人	1984年（昭和59年）に開館した谷戸公民館は、8月1日に開館40周年を迎えた。この機会に、公民館活動団体・地域の協力団体・市民に広く呼びかけ、実行委員会を立ち上げ、年間を通して、様々な記念事業を実施した。	高井 正（早稲田大学非常勤講師、西東京市公民館運営審議会委員）

5	谷戸	教養講座 日本の伝統文化にふれてみよう ザ！ 和太鼓	11月17日から 12月22日 日曜日 14時から15時30分 全6回	延べ85人	太鼓の構えやばちの握り方から学び、講師の保谷和太鼓会の創作太鼓「保谷ふるさと太鼓」を練習し、最終日に公開で発表会を行った。	保谷和太鼓会
6	ひばりが丘	女性対象講座 自分をもっと好きになる ～自尊心を育むコミュニケーションのヒント～	5月17日から 7月19日 金曜日 10時から12時 全10回	延べ175人	前半60分は女性の人権擁護や自己尊重、アドラー心理学やセラピーなど講師の専門分野から「女性や若者の生きづらさの現状とその対処法」を考察・報告いただき、後半60分は、講師の話をどう捉えたか、参加者同士の話し合い学習から、自分の視点や価値観を確認した。	西山さつき（NPO法人レジリエンス代表） 齋藤梨津子（養育親、「アート／ケア／文化政策」研究会代表） 清水陽子（アドラー心理学・親子関係講座SMILEリーダー） 浅井咲子（アート・オブ・セラピー代表、『「安心のタネ」の育て方』著者）
7	ひばりが丘	“語りえないもの”を語り継ぐ10フィート映画第二作「予言」上映とトーク	9月29日 日曜日 14時から16時30分	延べ60人	「予言」映像とゲストトーク、原爆の絵の展示から非核・平和の実践について学び、原爆被害当事者の高齢化で被害に声を上げる方々が減少するなか、次世代にできることを模索した。	【上映作品】 10フィート映画第二作「予言」 （16ミリフィルム、41分、1982年） 【講師】 永田浩三（ジャーナリスト、武蔵大学教授） 青木文太郎（劇団ハトノス主宰、劇作家） 鳥海太佑（東京学生平和ゼミナール） 野田信枝（広島被爆体験伝承者） 【展示】 広島平和記念資料館所蔵、基町高等学校の生徒と被爆体験証言者との共同制作による「原爆の絵」

8	ひばり	上映会 第1弾 「僕とケアニンとおばあちゃんたちと。」 第2弾 「僕とケアニンと島のおばあちゃんたちと。」	10月21日 月曜日 13時から15時30分 11月18日 月曜日 13時から15時30分 2回	延べ68人	映画に登場する利用者の生き様や、介護スタッフが自然体で接する姿を見ることで、高齢期において豊かに生きるとはどういうことなのかを、自分事として考える機会となった。また、介護を必要としている高齢者が、その人らしく生きるために必要な自立支援ケアや周りの人々との関わりについて理解し、地域と共に生きるとはどういうことなのかを考える機会となった。上映終了後に意見交換会を行い、感想を共有し、それぞれの経験に基づいた多様な考え方があることを理解する機会となり、更なる学びの場となった。	
9	保谷駅前	高齢者対象講座 基本から学ぶスマートフォン	10月16日から 11月6日 水曜日 10時から12時 全4回	延べ46人	高齢化社会を迎え、特にスマートフォンの操作が苦手な高齢者を対象として、スマホ操作の基本から便利なアプリの使い方とインターネットの安全な活用に必要なことを学んだ。	梅原昭彦（特定非営利活動法人西東京NPO推進センター「セプロス」代表） アシスタント：各回4人
10	保谷駅前	第15回駅前フェスタ2024 みんな輝け！ 駅前フェスタ	10月19日 土曜日 10月20日 日曜日 10時から16時40分 【展示】 10月19日（土曜日）から 10月25日（金曜日）	延べ729人	・準備会、反省会も含め、5月～11月計6回の実行委員会を開催し、参加サークルが活発に議論し、展示・発表・カフェ・ワークショップ等多彩な内容を作り、地域住民が多数、来場した。 ・駅前フェスタが地域の学校と関係を持てるように実行委員会と協議し、本年度初めて近隣の中学校に展示協力を依頼し、青蘭中学校生徒の作品を出展してもらった。	
11	保谷駅前	人権講座 こどもの貧困に向きあう地域をつくる	11月16日から 12月14日 土曜日 10時から12時 ※第1回は9時45分から 12時15分 全5回	延べ75人	今、物価高の中で経済弱者の生活は苦しく、子どもの貧困が更に深刻化することが懸念される。現場を知る講師をむかえ、その実態を知り、地域の大人としてできることを、考えあった。講座終了後サークル化が決まっている。	赤石千衣子（しんぐるまざーずふぉーらむ代表） 岸田久恵（猫の足あと代表） 牧野史子（介護者サポートネットワークセンター・アラジン代表） 佐藤洋作（文化学習協同ネットワーク代表） ※第1回は、映画「猫と私ともう1人のネコ」の上映と祝大輔監督を囲んで感想の交流。